



2021-2022
No.1671
2022.6.2

会長： 本山佳宏 幹事： 原澤ふじ子
 会員数： 48 会場出席： 35 欠席： 13
 出席率： 72.91%
 点鐘： 本山佳宏 会長 司会： 宮田美行 S A A
 国歌斉唱
 ロータリーソング：我等の生業（ソングリーダー：平井克明）
 例会場：ホテルベラヴィータ 2F 18:30～

会長の時間

本山佳宏 会長



当クラブに入会すると額に入った『四つのテスト』が渡されます。この四つのテストは、たった 24 個の英単語によって出来ている、ビジネスの基準から始まったとてもシンプルな守り、行うべき行動の事です。皆さんはこの額を会社や自宅の壁に掛けてあると思いますが、今日は新入会員の皆さんに、ロータリーの基本理念の一つである『四つのテスト』について、ロータリーの友などから抜粋してお話します。

最初に『四つのテスト 言行はこれに照らしてから』とあります。これは、4項目の個々に対するのではなく、四つを一組とし、先ずは心の中で考えてから言ったり、行動したりする事が、大切であるという事です。

1. 真実かどうか？「嘘偽りが無いかどうか」という意味です。人間は心が大切。真実は不変であり、時代を超越するものです。真実は正義なくしては存在しません。
2. みんなに公平か？「全ての取引先に対して公正かどうか？」という事を意味します。偏る事なく、正々堂々、正しくお互いの関係を傷つける事なく、その関係向上に努める事です。
3. 好意と友情を深めるか？「商取引が会社の信用を高めると同時に、より良い人間関係を築き上げ、取引先を増やし、信頼を高めるか？」を問うものです。協力し、愛情を示す事は、生まれ持った人間の本能です。
4. みんなのためになるかどうか？「売り手だけが儲かったり、また、買い手だけが得をしたりしたのでは公正な取引とは言えません。その商取引によって、全ての取引先が適正な利潤を得るかどうか？が問題なのです」。つまり、思いやりの無い競争は排除し、利害関係のある人達の為になるかどうか、常に自分の心に問うという事です。

それでは、この『四つのテスト』がどのようにして生まれたのか？

商売上の経営理念・企業理念であった『四つのテスト』の創案者は、シカゴクラブの会員であったハーバート・

J・テラーです。彼は、1931年に世界大恐慌のあおりを受けて、倒産寸前の状態にあったアルミニウム製品会社の再建を依頼されました。その立て直しのために社員に対しあえて、倫理的価値観（モラルなど守るべき秩序）の目安となる簡潔な道を指示し、正しい営業活動を実践する事を求めました。

一例ですが、先ず広告に対して適用されたのは、「より良い」とか「最上級の」といった表現が削られ、製品に関する事実に基づいた説明文が載せられる事になりました。また、競合他社の欠点を論ずる文面も、広告や企業案内から取り除かれました。そして、徐々に顧客や社員の間に、同社に対する信頼と好意が生まれるようになりました。

『四つのテスト』には、倫理・道徳・正義などの教えが盛り込まれ、社員の誰もが簡単ですぐに覚えられるような簡明さがありました。そして、会社は見事に蘇り、テラーはこの『四つのテスト』が単に職業上の理想を説いたものではなく、極めて実用的なものであった事を実証しました。

1954-1955年R I 会長に就いたテラーは、『四つのテスト』の著作権をR I に移譲しました。そして、国際ロータリーにより世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されています。

現代社会が、今一番必要としているのは倫理的な誠実さではないでしょうか。

私たちロータリアンは、日々『四つのテスト』に照らし合わせて、正しく行動できるよう努めましょう。

幹事報告

原澤ふじ子 幹事

- ① 来年度のロータリー手帳が届いています。必要な方は幹事までお申し出ください。
- ② 地区内複数のクラブより例会変更の案内が届いています。
- ③ 4月24日に開催された地区大会にて、40年以上の永年在籍者として当クラブより北野浩司郎会員(52年)と小林照夫会員(40年)が表彰されました。今回は在籍40年になられた小林会員に地区より記念品が届きましたので、会長よりお渡し致します。





本山 佳宏・原澤 ふじ子

本日は、手九野太鼓さんに勇壮な演奏をして頂きます。皆さんで楽しみましょう！

平井 克明

夜間例会 楽しみにしていましたが、途中で失礼しなくてはなりません。申し訳ありません。

